

**神奈川県社会福祉協議会 第2種・第3種正会員連絡会 活動成果普及事業
「活動成果普及助成」助成団体 ホームページ掲載用報告書**

団体名	(特非) 神奈川県障害者地域作業所連絡協議会
事業名	緊急事態宣言時の各事業所の実態調査 報告書名：緊急事態宣言時における小規模事業所の動向に関する アンケート調査結果
事業の概要〔事業の目的・取組みの概要・成果や参加者の様子・今後の展望等〕 【事業の目的・取組みの概要】 令和2年4月7日から5月5日間の緊急事態宣言時の小規模障害サービス事業所での利用者の支援への変化や動向に向けての対応を調査した。 調査内容:令和2年4月7日から5月5日間の緊急事態宣言時の小規模障害サービス事業所での利用者への支援の変化や事業所の対応を調査し、今までに経験のない状況からみえる（みえてくる）支援活動内容と各事業所の感染症対策への取組をとりまとめた。 調査回答件数：88か所 報告書発行部数：300部 発送(配布)先：291か所（調査事業所、行政機関、関係団体等） 【成果及び今後の展望】 一般社会も含めコロナ禍での生活もいつの間にか少しずつ慣れ感や麻痺している部分も少なからずある中で、感染拡大を防ぎながら充実した日々の生活を模索して行く事はとても難しいことでもあります。これから年末・年始を迎え、更にウィルスの流行拡大が聞こえてきています。そういった状況下でも、事業所は適切な判断と行動を求められ、私たちに出来る事は今後に備えた物品の備蓄と、過去に学び、それを今後に活かしていけるかどうかの準備や日々の対策を丁寧に行っていく事だと思います。このアンケート報告が活動に少しでも役立つ事、そして私たち事業所はひとつひとつは小規模ですが、県内各地で皆同じ様に悩みながら行動している事を伝えられたと思います。 地区ごとでの多くの参加者を集めた研修会(取組・報告書から学ぶ意見交換会)の開催は難しい中ですが、身近な事業所が孤立感を深めないよう、この報告書を利用しながら情報交換に役立ていく事ができると考えています。	